

# アンケート調査等集計結果からの 今後の市の方向性について



第2回行田市障がい者計画等策定委員会

- 令和5年11月17日（金）
- 午後1時30分～
- 男女共同参画推進センター2階相談室

この資料は、第2回策定委員会における議論の参考としていただくため、事務局が整理させていただいたもので、事務局の見解を示すものであり、また、決定事項ではございません。

特定の分野にこだわらず、幅広い分野においてご意見等をいただくことで、第3回策定委員会の資料作成の参考とさせていただくものです。

慎重審議のほどよろしくお願い申し上げます。

# 1. 計画策定にあたっての方針

国

障害者基本計画（第5次）（令和5年3月）

埼玉県

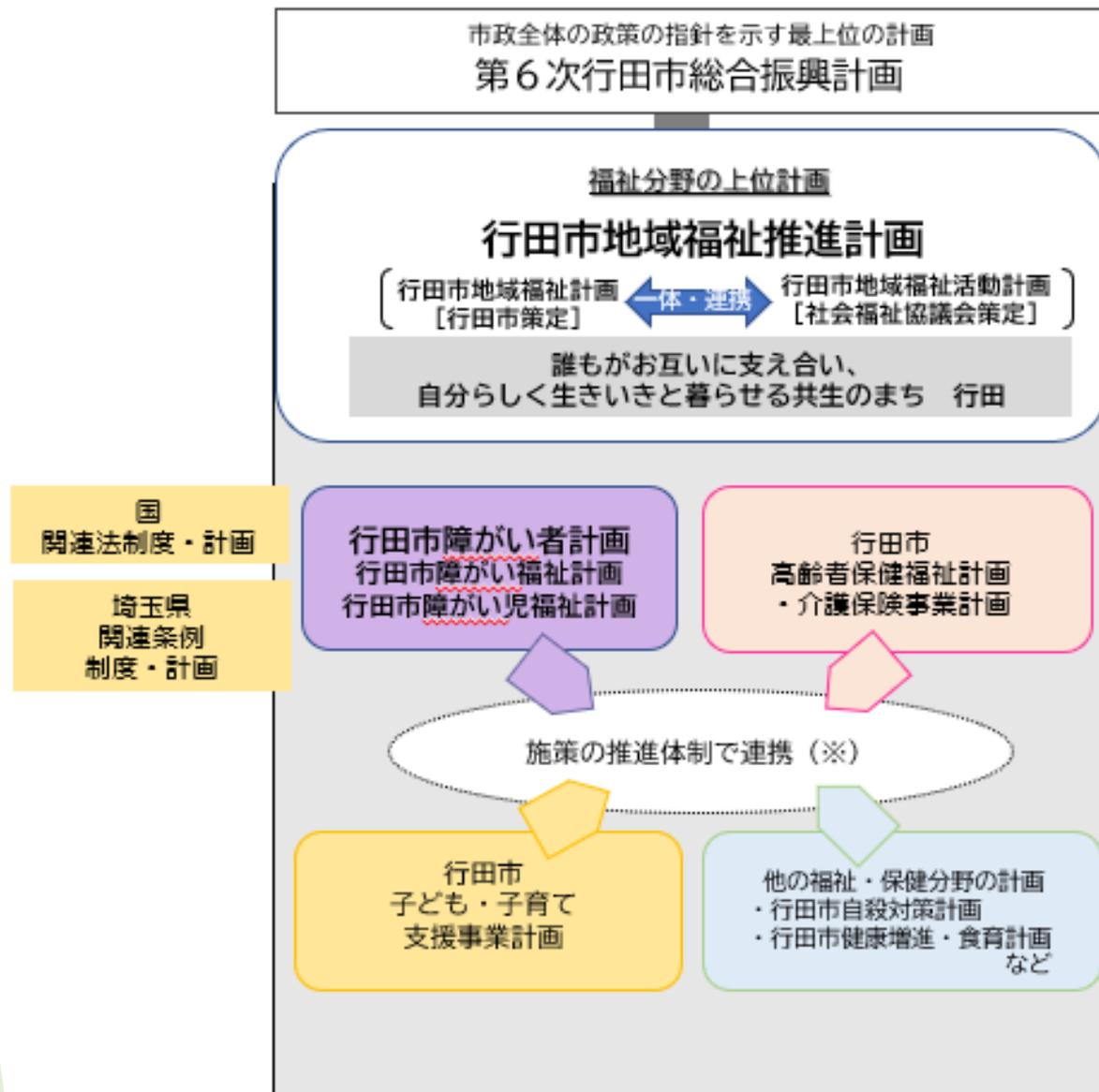
第7期市町村障害福祉計画等（令和6年度～令和8年度）作成に係る県の考え方（令和5年7月）

市

計画策定の方針（案）

- ①. 国、埼玉県の計画等
- ②. これまでの障がい者計画等の取り組み状況
- ③. 障がい者計画等改定に伴うアンケート調査、ヒアリングの結果
- ④. 市民意見募集（パブリックコメント）

# 【参考】行田市の他の計画との整合性



※ 保健福祉分野別の計画は、地域共生社会の実現という共通理念のもとに策定されています。地域共生社会の実現に当たっては、地域課題を「我が事」、「丸ごと」受け止め取り組む必要があるため、「縦割り」の壁を低くし、円滑な連携体制を整備する必要があります。

## 2. 「計画の基本的な考え方」 (案)

アンケート等から計画の目標像、基本目標Ⅰ～Ⅳを以下のとおり再設定

### 計画の目標像 (案)

案①「誰もがお互いに支えあい、自分らしく生き生きと暮らせる共生のまち 行田」  
(地域福祉推進計画の目標と同じ)

案②「～いきいき・ふれあい・ぬくもり～共に学び、共に働き、共に生き、参加する  
まちづくり」  
(第4期障がい者計画等の目標)

#### 現行計画 (第4期)

基本目標Ⅰ  
住み慣れた地域でいつまでも暮らし続ける  
ために

基本目標Ⅱ  
自立に向けた力をつけるために

基本目標Ⅲ  
社会参加と仕事をしていくために

基本目標Ⅳ  
「共生社会」の実現のために

#### 新規計画 (第5期)

基本目標Ⅰ  
「共生社会」の実現のために

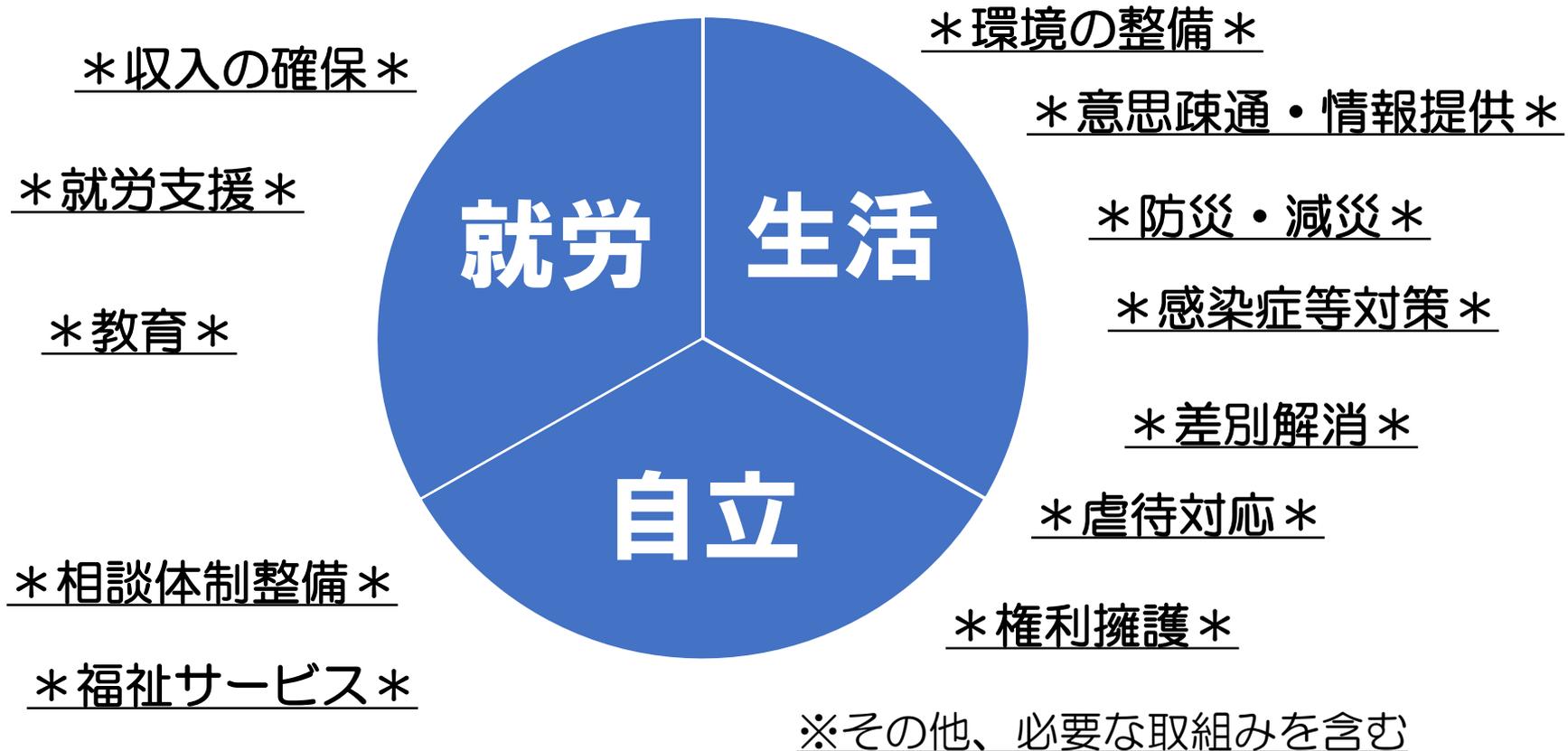
基本目標Ⅱ  
社会参加と仕事をしていくために

基本目標Ⅲ  
住み慣れた地域でいつまでも暮らし続ける  
ために

基本目標Ⅳ  
自立に向けた力をつけるために

## 2-2. 目標像と基本目標の関係性のイメージ

障がいのある人も、ない人も、ともに取り組んでいく計画  
(障がいのある子どもから高齢者までの幅広い世代を対象)



**共生社会の実現に向けた取組み**



### 3. 第5期計画の施策の展開（案）

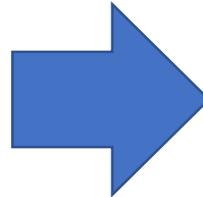
#### 新規計画（第5期）

基本目標Ⅰ  
「共生社会」の実現のために

基本目標Ⅱ  
社会参加と仕事をしていくために

基本目標Ⅲ  
住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるために

基本目標Ⅳ  
自立に向けた力をつけるために



#### 施策の方向

（１）障がいのある方の相談・サービス支援体制の整備

（２）障がいのある方の自立に向けた就労支援体制の整備

（３）防災・減災における障がいのある方の支援体制の整備

（４）幼少期からの適切な療育・支援体制の整備

（５）障がいのある方の権利擁護体制の整備

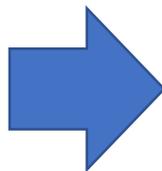
（６）障がいのある方等に配慮したまちづくりの取組み

## 4. 基本目標の設定の考え方（1）

【障がいのある方向け：問5 1. 市に求めること】

### 上位抽出

1. 災害発生時に、障がいのある人が安心して避難できるよう支援体制を整備する（24.5%）
2. 障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する（23.0%）
3. 病気や障がいを予防するとともに、早い段階で適切な治療や療育を進める（18.4%）
4. 障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する（17.7%）
5. 就業や生活面の相談や支援をする障がい者就業・生活支援センターを市内に確保する（15.6%）
6. ホームヘルプサービス（居宅介護）など福祉サービスを充実する（15.3%）



### 基本目標

- 基本目標Ⅰ  
「共生社会」の実現のために
- 基本目標Ⅱ  
社会参加と仕事をしていくために
- 基本目標Ⅲ  
住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるために
- 基本目標Ⅳ  
自立に向けた力をつけるために

## 4. 基本目標の設定の考え方（2）

【一般の方向け：問18. 市に求めること】

### 上位抽出

1. 障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する（39.5%）
2. 幼少期からなどできる限り早く適切な治療や療育を進める（25.2%）
3. 災害発生時に、障がいのある人が安心して避難できるよう支援体制を整備する（24.7%）
4. 障がいのある人も利用しやすいよう、公共施設の設備や道路等を改善する（21.1%）
5. 就業や生活面の相談や支援をする障がい者就業・生活支援センターを市内に確保する（20.4%）
6. 学齢期等における障がいのある子どもたちの可能性を伸ばす教育を進める（19.6%）



### 基本目標

- 基本目標Ⅰ  
「共生社会」の実現のために
- 基本目標Ⅱ  
社会参加と仕事をしていくために
- 基本目標Ⅲ  
住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるために
- 基本目標Ⅳ  
自立に向けた力をつけるために

## 5. アンケート、ヒアリング結果及び 第4期計画の取組み状況を踏まえた 施策の方向（案）

### 市に求めることの具体内容

- (1) 障がいのある方の相談・サービス支援体制の整備
- (2) 障がいのある方の自立に向けた就労支援体制の整備
- (3) 防災・減災における障がいのある方の支援体制の整備
- (4) 幼少期からの適切な療育・支援体制の整備
- (5) 障がいのある方の権利擁護体制の整備
- (6) 障がいのある方等に配慮したまちづくりの取組み

# (1) 障がいのある方の相談・サービス支援体制の整備

## \* アンケート調査

### ➤ 【障がいのある方向け】

障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する  
(17.7%)

### ➤ 【市民の方向け】

障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する  
(24.7%)

## \* 事業所ヒアリング

➤ 職員人災の確保・職員の高齢化

➤ 施設の老朽化

➤ 物価高騰、人件費の上昇等

➤ 施設の見回り（不定期巡回など）を実施

## \* 関係団体ヒアリング

➤ 障がい福祉に関わる人材の高齢化・人材の確保

## \* 第4期計画の進行状況（指摘事項）

➤ 障がい福祉に関わる人材の確保

➤ 地域における相談支援体制の充実・強化

## 【施策の方向】（案）

・ 福祉サービスの充実      ・ 相談支援体制の充実

新 障がい福祉を支える支援者の人材の育成・確保、高齢化対策

新 複合的な問題を抱えた課題に対する相談体制の整備

## (2) 障がいのある方の自立に向けた就労支援体制の整備

### \* アンケート調査

#### ➤ 【障がいのある方向け】

障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する (23.0%)

#### ➤ 【市民の方向け】

障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する (39.5%)

### \* 関係団体ヒアリング

➤ 就労支援、就業の定着について、健常者と同等に仕事ができるような環境作りに支援することを望みます。

➤ 発達障がい者の就労支援に関するプログラムや職場の理解と調整。

➤ インクルーシブな職場環境を整備し、障がい者の雇用機会の増加。

### \* 第4期計画の進行状況 (指摘事項)

➤ 障がいのある方の就労について。

### 【施策の方向】 (案)

・ 就労の支援

新 市内での就労相談支援体制整備の検討

新 多様な就業の機会の確保 (農福連携等)

### (3) 防災・減災における障がいのある方の支援体制の整備

#### \* アンケート調査

##### ➤ 【障がいのある方向け】

災害発生時に、障がいのある人が安心して避難できるよう支援体制を整備する  
(24.5%)

##### ➤ 【市民の方向け】

災害発生時に、障がいのある人が安心して避難できるよう支援体制を整備する  
(24.7%)

#### \* 事業所ヒアリング

- 災害時に障がい特性に配慮された避難所の整備は必須です。
- 福祉避難所開設訓練を、計画に盛り込んで定期実施できるようお願いします。

#### \* 関係団体ヒアリング

- シェルターや避難所へのアクセシビリティの問題

#### \* 第4期計画の進行状況（指摘事項）

- 障がいのある方への防災対策・避難場所の確保について

#### 【施策の方向】（案）

新 防災・防犯対策の推進

新 意思疎通の支援

新 行政情報のアクセシビリティの向上

## (4) 幼少期からの適切な療育・支援体制の整備

### \* アンケート調査

#### ➤ 【障がいのある方向け】

病気や障がいを予防するとともに、早い段階で適切な治療や療育を進める

(18.4%)

#### ➤ 【市民の方向け】

幼少期からなどできる限り早く適切な治療や療育を進める (25.2%)

### \* 事業所ヒアリング

➤ 個々の状況に応じた活動内容の見直し

### \* 関係団体ヒアリング

➤

### \* 第4期計画の進行状況 (指摘事項)

➤ 放課後等デイサービスを利用増にもとづく経過観察の必要性について

➤ 障がいのある人とない人への教育環境の整備

### 【施策の方向】 (案)

・ 療育・保育・就学前教育の充実  
新 発達障がいやその疑いを含めた、障がいのある子どもに対する支援の充実  
新 インクルーシブ教育システムの推進  
(児童発達支援センターの設置)

## (5) 障がいのある方の権利擁護体制の整備

### \* アンケート調査

#### ➤ 【障がいのある方向け】

障害者差別解消法            知らなかった    64.0%

#### ➤ 【市民の方向け】

合理的配慮の提供        知らなかった    76.1%

### \* 事業所ヒアリング

➤ 障がい者のアートを展示する全国的なイベントを開催して欲しい。

### \* 関係団体ヒアリング

➤ 社会には正当な理由として差別化がされることがあります。自分より目下・格下とみている人たちが沢山いるようです。少しずつ変わればと思っています。

### \* 第4期計画の進行状況

➤ 障がい者差別解消推進条例の取組み

### 【施策の方向】（案）

新 障がいのある人に配慮したまちづくりの総合的な推進

新 障がいを理由とする差別の解消、合理的配慮の提供の推進

（行田市障がい者差別解消推進条例）

## (6) 障がいのある方等に配慮したまちづくりの取組み

### \* アンケート調査

#### ➤ 【障がいのある方向け】

障がいのある人も利用しやすいよう、公共施設の設備や道路等を改善する

(15.1%)

#### ➤ 【市民の方向け】

障がいのある人も利用しやすいよう、公共施設の設備や道路等を改善する

(21.1%)

### \* 事業所ヒアリング

➤ 観光地行田づくりの中に、福祉作業所の製品を販売するアンテナショップを作っていたきたい。

### \* 関係団体ヒアリング

➤ 障がい者の住みやすい社会作り。

### \* 第4期計画の進行状況

➤ 障がいのある人の意見を取り入れたまちづくり

### 【施策の方向】 (案)

・ 施設・公共交通のバリアフリー化

新 障がいのある人に配慮したまちづくりの総合的な推進